

---

# ドラゴンバスターズ

アルファニオン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ドラゴンバスターズ

### 【Nコード】

N9352Z

### 【作者名】

アルファニオン

### 【あらすじ】

竜や人が共に暮らす異世界。その世界に暮らす1人の少年レンはドラゴンバスターになることを夢見る。その裏にある野望に巻き込まれることも知らず……

## プロローグ(前書き)

二作目です。





## プロローグ（後書き）

宜しく願います。

## 第一話エターナル（前書き）

レン「やっと出れたよ〜」

アルファニオン（以降アル）「まあプロローグは竜王と龍神の戦い  
だったからね〜」

レン「ねえアル。アリスとトムは？」

アル「次回の前書きに出そうと」

レン「じゃあ、ドラゴンバスターズ始まるぜ！！」

## 第一話 エターナル

ドラゴンバスター出現から百年後、アルサイド合衆国の何処にでもある町レクレ。その町に暮らす1人の少年がいる。その少年は世界を巻き込む戦争に参加することになる。これは1人の少年の物語。

ゴーン、ゴーン。

授業終わりの鐘が鳴る。放課後になり生徒達は帰りの支度をしている。そんな中お喋りしている周りを無視してさっさと帰ろうとする少年が1人いる。そしてその少年を追いかけ、話し掛けようとする少年と少女がいる。

「おい、待てよレン！どうしてそんなに急いでいるんだよ？」

「そうよ。今日は一緒に帰れると思っていたのに！」

少年と少女はレンにそう言うとレンは

「ゴメンゴメン、今日はレインと約束してて図書館に行かなきゃいけないんだ。だから一緒に帰るのはまた今度ねトム、アリス」

レンはトムとアリスにそう言って謝り、それを聞いたトムとアリスは

「なんだ、レインのおっさんか。なら仕方ないな。な、アリス」

「ううゝ。仕方ない……その代わりレン！！明日は一緒に帰るよ！約束だからね！！」

二人はそう言うと帰っていきました。

「アリスはなんで僕と帰りがるんだろう？おっと急がなきゃ！」

レンは鈍感なのでアリスが言ったことに頭に？を浮かべていたが、レインとの約束があるので慌て駆けて図書館に向かいました。

## 図書館

「遅いぞレン！10分遅刻だ！！約束の時間を守れないとは、何事だ！！」

図書館に駆け込んだレンにレインは叱りつけた。

「ちょ、待つてよレイン。授業が終わるのが遅かったんだよ。だから遅れたんだよ。だから10分くらい見逃してほしい」

レンがレインに頼み込むが、レインがそれを許す筈もなく

「駄目だ。遅刻したから地下書庫の本の整理をしなさい。無論、私がいいと言っただ」

それを聞いたレンはすごく嫌そうな顔をして

「地下書庫の整理なんて疲れるだけだよ。はぁー、不幸だ」

レンのその呟きを聞いたレインは

「言い訳無用！！さっさと逝きなさい！！」

と言いレンを地下書庫に放り込みました。

「何するんだレイン！？てか字が違ーうー！！！？」

ガツシャーーン！！！！

物凄い音が響きレインは地下書庫への扉をボタンと、閉じました。

「やれやれ、レンはあんなで本当にドラゴンバスターに成れるのか？心配だ」

## 地下書庫

レインに放り込まれたレンは、おとなしく（しぶしぶ）本の整理を始めました。

「はぁ、レインは真面目過ぎるよ。全く10分くらい見逃してくれたっていいじゃん」

この通り、全く反省していないが

「だいたいレインは頑固なんだよ」

更に文句を言う始末。全く持って情けない。

「さっきから作者うるさい！！てか、話しかけるな！！って何言ってるんだ僕は？」

何だったんだろう一体？まあ、いつか別に。レインはそう思いながら本の整理を再開した。

「にしても、全然終わらないな。まあ、始めたばかりだからな」  
レインは整理って言っても、もう少ししたらレインに呼ばれるだろう、  
と思えば本の整理を遣り始めました。しかし、一時間以上たってもレインは呼びに来ないのでレインはイライラしました。

「遅い！レインはいつまで本の整理をさせるつもりなんだ！？」

レインは文句を言いながらも、本の整理をしてました。そのせいか少し乱暴に本を本棚に入れてしまい、その振動で近くに在った本の山が崩れてレインは埋もれてしまいました。

「もう嫌だー！ー！なんとか脱出出来ないかな、ん？なんだあれ？」

本から這い出たレインが脱出出来ないか考えていると、さっき本の山が在った所の後ろに扉がありました。今まで見たことのない扉に興味を持ったレインは扉に近づき扉の取っ手に手を掛けました。

「あれ？開いてる、それじゃあちよつとだけ見せて貰おうと」

レインはギイー、と扉を開けました。扉の奥に在ったのは下に降りる階段でした。レインは流石にこれ以上は駄目だと思いつつも好奇心に勝てず階段を降りて行きました。

「こんな所に階段が在ったなんて……、下には一体何があるんだろう？」

レインは呟きながら地下二階に着きました。

「なんだ此処は？」

レインが在った場所は広々とした空間でした。

「何にもないじゃないか。ん？真ん中に何かある」

空間の中央に何かあるのに気づいてレインは近づいていきました。す



「はあー、僕はレクレの町のレンだ宜しくね」

「僕はこの世界最古の歴史の本永遠のエターナルだ」

この出会いが新たな歴史始まりだと言つことにまだ誰も気づいていない。

## 第一話エターナル（後書き）

アル「次回かその次から何か後書きコーナーを作ろうと思う」

レン「僕は武器について知りたい」

アル「まあ、考えるよ………」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9352z/>

---

ドラゴンバスターズ

2011年12月31日02時48分発行